



かせやま

# 鹿背山ものがたり

さとやま あそ げつ  
里山と遊ぶ12ヶ月

かせやまげんき  
鹿背山元気プロジェクト



問

とんこり

かき

きん

## まえがき

きょうとふ き づがわし か せやま さとやま  
京都府木津川市のまんなかに鹿背山という里山が  
あります。

そこには、たくさんの動物や植物がすみ、田んぼ  
や畑を作る人がいて、なつかしい村の風景がちゃ  
んとのこっています。

私たちはそれがほんとうの宝物だと思ひます。

子どもたちも里山で元気に遊び、いろいろなこと  
を学んでいます。

そんなようすをこの本でごしょうかいしたいと思  
ひます。

さあ、里山とのいいつきあいを、はじめましょう!!

か せやま げんき  
鹿背山元気プロジェクト

# CONTENTS



4月	竹の子をほろう	1
5月	竹で遊ぼう	2
6月	水の生き物しらべ	3
7月	里山 <small>さとやま</small> キャンプで真夜中 <small>まよなか</small> の探検 <small>たんけん</small>	4
8月	里山 <small>さとやま</small> の生き物にであいに行こう	5
9月	森の中でブランコをしよう	6
10月	イモほりやカキガりをしよう	7
11月	村 <small>むら</small> の仕事 <small>しごと</small> や歴史 <small>れきし</small> をしらべよう	8
12月	森のていれ	9
1月	森の木や土をいかす	10
2月	シイタケの菌 <small>きん</small> うち	11
3月	里山 <small>さとやま</small> をからだで感 <small>かん</small> じよう	12

# 4月

1

## 竹の子をほろう

さとやま  
里山や畑でいっせいに花がさきはじ  
ます。ほうほうにしげった<sup>ちくりん</sup>竹林を歩き  
回って、地面にちょこっと頭を出した<sup>じめん</sup>  
竹の子を見つめます。スコップを<sup>じめん</sup>地面  
にふかくさしこんで、竹の子のまわりをほります。竹の子の  
根っこをきって、スコップをいれて「ヨッコイショ」ともち  
あげます。大きな竹の子がとれました。竹の子は<sup>ちか</sup>地下にはり  
めぐらした、竹の根っこからはえるのです。



アリアケスミレ



ムラサキサギゴケ



ヤマザクラ



カンサイタンポポ



ショウジョウバカマ

# 竹で遊ぼう

# 5<sup>2</sup>月

竹はふしぎな植物です。木なのか草なのか、よく分かりませんし、  
成長期には1日に120センチも伸びることも観察されています。竹から

生まれた「かぐや姫」のものがたりも、竹のふしぎな性質に  
関係するのでしょうか。

竹はバネのようにしなっては、もとにもどります。そのしなやかさを  
利用して、平均台や弓矢をつくって遊びます。また、竹は中が空洞なので、  
竹笛をつくって鳴らすことができます。



ナスの花



まんがんじとうからしの花



ウメの実



みかんの花



### 水の生き物しらべ

あたたかくなって、川や池や田んぼの水の中の生き物が活発かつぱつにうごきだします。こどもたちは水をすくって、小さな虫やサワガニをさがします。

川の中にはいろいろな生き物がすんでいます。どんな生き物がすんでいるかしらべると、川の水のきれいさが分かります。鹿背山かせやまのなかぎり川では、トンボのヤゴやサワガニなど見つかります。これは、川が少しよごれているものの、まだきれいだということをしめします。



水の中の生き物を分類します



麦をだっこくしています



オオオバボタル



トンボの幼虫のヤゴです



サトイモの葉にたまった雨



ノコギリクワガタ



ゴーヤ

## さとやま まよなか たんけん 里山キャンプで真夜中の探検

畑でとれた野菜でカレーライスを作ったり、みんなでテントでねたり、里山キャンプでふだんできないことをやって、友だちをつくろう。

カブトムシやクワガタムシは、夜中にクヌギやコナラの木からでる樹液にあつまってきます。みんなで夜中の里山を探検してみましよう。

地面にねころんで、よぞらの星をながめるのもたのしいよ。



カブトムシの交尾



ジャガイモ





ニホンジカ



ブルーベリーの実



ナナフシ



キアゲハ



ミヤマクワガタ



アオマダラタマムシ



センチコガネ



### さとやま 里山の生き物にであ いに行こう

まちにまった<sup>なつやす</sup>夏休み。みんなで  
さとやま  
里山の生き物にであいに行こ  
う。

セミも、ニイニイゼミやヒグラ  
シなど種類<sup>しゅるい</sup>の違<sup>ちが</sup>ったセミがみつ  
かる。チョウもやってくる。し  
ずかに耳をすませば、鳥<sup>とり</sup>の声<sup>こえ</sup>も  
たくさんきこえてくるよ。里山<sup>さとやま</sup>  
の中にはたくさんの生き物がす  
んでいるんだ。



モリアオガエル



プチトマトやナス





## 森の中でブランコをしよう

森の中にブランコをつくろう。高い木に竹やパイプをひもでしっかりしばって、ロープをたらし、座板をつける。

石やきりかぶなど、かたいものが地面にないかをチェックして、ためしに乗ってみよう。風を感じながら、ゆらりゆらりとこいでみる。大きくゆらしてジャンプして、やわらかい土の上に着地する。

友だちとかわりばんこに乗ってみよう。だれがいちばんとおくまでとべるかな。



ツユクサ



ミカンの実



カキ



オニヤンマ



ヒタレゴボウ



ゴーヤ

10月7



アケビの実



## イモほりやカキがりをしよう

畑ではサツマイモのイモほり。イモのツルをたどって、太い根っこをさがす。スコップで土をおこすと・・・見つけたぞ赤いサツマイモ！！

ワーツとあつまってきたみんなでイモほりだ。根っこでつながった、たくさんのイモをもれなくさがそう。

かじゅ園はカキの実でオレンジ色にかがやいている。甘いカキの実をとりにいこう。

農家のひとにカキの手入れをおしえてもらおう。冬にはえだの剪定をするそう。えだのびすぎないように、ところどころのえだを切るんだ。えだがどんなふうになるかを考えながら切るんだよ。カキの実は、ヨーグルトをかけてもおいしいよ。



ウメモドキの実



ツリガネニンジンの花



クリの実





ソヨゴの実



エビガラスズメの幼虫



11月 8



柿の木



## むら しごと れきし 村の仕事や歴史をしらべよう

村のかじやさんやおじぞうさんをたずねるエコツアーをしました。かじやのおじいさんはクワや竹の子ほりのほうなどの道具を作っています。鉄を石炭の火でねっして、大きな機械でたたいてかたちをつくってゆきます。竹の子をほるほうをかいにくる人や、古いクワの修理をたのみにくる人たちがやってきます。鉄といえば、村には鉄の彫刻をつくっている若い人もいます。

鹿背山のあちこちには石のおじぞうさんがおられます。それぞれにお名前やいわれがあります。地元のおはなしをきいてノートにかいておきましょう。





ムベの実

## 森のていれ

むかしの人は、<sup>さとやま</sup>里山の木やえだをきって薪<sup>まき</sup>にしていました。おちばは畑のひりょうにしていました。そのようなていれをすることで、日あたりやかぜとおしのいい、いろいろな生き物がすめる森をつくっていたのです。<sup>やま</sup>山と<sup>さと</sup>里とがたすけあってくらしていたのです。今では、とおいと<sup>ねんりょう</sup>ころの燃料や<sup>ひりょう</sup>肥料を<sup>か</sup>買うので、そのようなつながりがなくなり、山のていれをしなくなりました。

しげりすぎてこみあってきた森の木を、<sup>かんぼう</sup>間伐してみましよう。かれた木をたおしたり、木のえだをきってはこんだりして、森の中をきれいにしましょう。

みんなが遊べる、きもちのいい森になるよ。



ユズとムベ



## 森の木や土をいかす

# 10月

ぎった木はできるだけむだにしないように、薪まきにしたりテーブルやベンチをつくったりします。まっすぐなヒノキは小屋のはしらこやなどにするために、地面からうかしてかわかします。コナラの木もチェーンソーでたてに切って、テーブルやベンチの板いたにします。ソヨゴやリョウブなどのほそい木もみじかくきって、薪ストーブの燃料ねんりょうになります。

つもったおちばが土になった腐葉土ふようどは、畑にはこんでしばらく発酵はっこうさせてから肥料しりょうにします。



## シイタケの<sup>きん</sup>菌うち

コナラやクヌギのえだを切って、しばらくかわかしてからシイタケの<sup>きん</sup>菌をうちます。ドリルであなをあけて、シイタケ<sup>きん</sup>菌の<sup>かんせん</sup>感染したコマを木づちでうちこみます。これをホ

ダ木<sup>ぎ</sup>といいます。ちょっとしめった日か

げにホダ木<sup>ぎ</sup>をつんでおきます。<sup>きん</sup>菌がホダ木<sup>ぎ</sup>ぜんたいに<sup>かんせん</sup>感染して、つぎの年の12月ごろにはシイタケがはえてきます。

とれたてのシイタケをやいておしょうゆで食べてみましょう。バターでいためてもおいしいよ。





おおぞらをとぶオオタカ



ミツバツツジ



うめの花

さとやま かん  
里山をからだで感じよう

はしりまわったり、とびはねたり、おちばですべったり。からだごと里山にぶつかってみよう。森の地面はゆるやかにうねったり、急な斜面になったりして、みんなをうけとめてくれる。おちばにうもれてかくれんぼをすることもできるよ。



かせやま さとやま いけ たに  
鹿背山の里山には池や谷やがけや  
いしきりば  
石切り場もある。いろんなばしよをたんけんして、ひみつきちをつくったり、たからもの宝物をかくして地図をつくったり、おもしろい遊びを考えてね。





### 制作スタッフ

企画制作 中村伸之 (ランドデザイン)  
イラスト 青木大輔、木津川市子どもエコクラブのみなさん  
編集デザイン 小野晴久 (アトリエ吠陀)  
監修 田辺英夫 (鹿背山元気プロジェクト代表、西念寺住職)  
写真提供

河合嗣生さん、濱 恵介さん、青木景治さん、中島和俊さん  
渡邊 隆さん、木津川市子どもエコクラブサポーターの会  
小野晴久、中村伸之

### 協力

木津川市子どもエコクラブ&サポーターの会  
TEL 0774-75-2140 (木津川市リサイクル研修ステーション内)  
ホームページ: <http://kizu-jec.jp/index.php>

### 発行

鹿背山元気プロジェクト  
TEL&FAX 0774-72-0700 (西念寺)  
ブログ: <http://kaseyama-genki.at.webry.info/>  
メール連絡先 [nnnet@mbox.kyoto-inet.or.jp](mailto:nnnet@mbox.kyoto-inet.or.jp)

